

令和7年度

刈谷市組織重点目標（実績・成果）

目 次

企画財政部	4
総務部	6
生活安全部	7
市民活動部	9
福祉健康部	11
次世代育成部	14
産業環境部	17
建設部	19
都市政策部	21
都市公園部	24
水資源部	26
教育部	28

令和7年度組織重点目標（実績・成果）

企画財政部 令和7年度組織重点目標（成果・実績）

(1)市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

(5)最少コストで最大サービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
D X の 推 進 政 策 による 効率化とサービスの向上を図ります。	①スマートシティ課題解決プロジェクトを推進します。	企画政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験 9件の実施 ・社会実装 2件の新規実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決型、フィールド提供型、国や県の制度を活用したものなど、民間企業等との共創により、多くの実証実験を行ったほか、新たな社会実装を実現することができた。
	②キントーンをはじめとした業務支援ツールの活用を図ります。	情報政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・業務支援ツール導入数 キントーン 34件 R P A 36件 	<ul style="list-style-type: none"> ・各課にて業務支援ツールが導入され、業務効率化が推進された。
	③窓口改革に向けた取組を推進します。	情報政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・転入時の配布書類の電子化 15件 	<ul style="list-style-type: none"> ・配布書類の電子化により、市民が多く書類を受け取る負担の軽減が図られた。
	④社会の変化にスピーディかつ柔軟に対応するため、D X 推進計画の更新を行います。	情報政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市D X 推進計画2.0の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市D X 推進計画2.0を策定し、D X 推進の方向性を明確にした。
	⑤基幹20業務システムの標準化移行を推進します。	情報政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化移行システム 3業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護、国民健康保険、国民年金の3業務を標準準拠システムに移行した。
	⑥財務会計システムの更新に合わせた事務の効率化を検討します。	財務課	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計事務デジタル化作業部会を実施 部会実施回数 7回 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計システムへの電子決裁及び電子請求の導入に向け、運用方法の検討や決裁規程の見直し、導入事例の調査等を行った。

(1)市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

(6)創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
魅力づくりと魅力発信を推進します。	①市制75周年記念イベント等を通じて、にぎわいの創出や郷土への愛着を育みます。	企画政策課 広報広聴課	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽フェスにおける地元事業者等との連携 マルシェ出店 112店 協力・協賛事業者 74者 ・広報紙やSNSなどで周知発信回数 113回(市民だより53回、SNS等60回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽フェスを開催するにあたり、多くの出店や協力・協賛を得ることでにぎわいの創出や郷土への愛着に寄与することができた。 ・広報紙やSNSでイベント等の周知を行い、にぎわいの創出等に寄与することができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
魅力づくりと魅力発信を推進します。	②市公式のスマホ向けアプリ及び公式SNS等を活用し、さまざまな情報を発信すると共に刈谷市をPRします。	広報広聴課	<ul style="list-style-type: none"> 公式アプリ（あいかり）総ダウンロード数 31,764件 公式SNS等のフォロワー数 203,636人 公式YouTubeチャンネル再生回数 150,064回 	<ul style="list-style-type: none"> LINEやあいかりを活用し、刈谷市内外を問わず多くの人に対し、積極的に情報発信をすることができた。 SNSを活用し、フォロワーへ刈谷市の魅力を発信することができた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
国勢調査を円滑に進めます。	①Web回答率の向上を図ります。 ②調査員の確保及び全庁的な協力体制を構築します。	広報広聴課	<ul style="list-style-type: none"> Web回答率 63.1%（市集計時） 前回47.2% 	<ul style="list-style-type: none"> LINEによる周知や、調査員訪問時の呼びかけ等を実施し、Web回答率の向上を図ることができた。
職員のデータ活用能力の向上を図ります。	①EBPM研修・RESAS活用研修などを実施します。 ②事務事業評価等におけるKPIの設定等に関する調査研究を進めます。	企画政策課	<ul style="list-style-type: none"> EBPM研修 325人受講 RESAS活用研修 98人受講 	<ul style="list-style-type: none"> データ活用能力の向上及びEBPMの基本的な考え方や意義の理解を通じ、より効果的な政策立案の重要性の理解、職員の能力開発に寄与した。
		企画政策課	<ul style="list-style-type: none"> 他自治体における事務事業評価の成果・活動指標等の調査 	<ul style="list-style-type: none"> 他自治体の事例を調査することで、事務事業評価の在り方について整理することができた。

総務部 令和7年度組織重点目標（成果・実績）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
災害時の被害認定調査体制の強化を図ります。	①被害認定調査業務に係る職員の資質の向上を図ります。	税務課 納税課	・庁内研修の実施 年1回 ・愛知県家屋被害認定士の新規登録者数 5名	・住家の被害認定研修を受講し愛知県家屋被害認定士の登録者数を増やすとともに、庁内研修を実施し、職員の資質の向上を図ることで、災害時の被害認定調査体制を強化した。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
行政事務の効率化及び市民サービスの向上を図ります。	①職員による業務改善を推進します。	総務文書課	・業務改善件数 完了 53件 継続実施 9件	・全庁的に業務改善に取り組み、行政事務の効率化及び市民サービスの向上に繋がった。
	②窓口での口座振替手続の簡略化及び口座振替登録時間の短縮を図るため、キャッシュカードを用いたPay-easy（ペイジー）口座振替受付サービスを導入します。	納税課	・ペイジー利用率（全体登録数に占める割合） 24.9% 集計期間：令和8年1月1日～3月31日	・キャッシュカードがあれば印鑑不要で口座振替の受付が可能となり、申込手続が簡略化されたほか、口座登録完了までの処理期間も6週間から最短3日に短縮されたことで、市民の利便性が向上した。
	③契約検査課案件の契約書を電子化することで、事務の効率化を図ります。	契約検査課	・電子契約システムの導入	・令和8年1月より電子契約システムを導入し、契約事務手続における業務の効率化と利便性の向上を図った。 電子契約利用率（工事の電子契約対象案件に占める割合） 63%

(6) 創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
職員の意欲を高め、創造力を発揮しやすい環境づくりに努めます。	①ワーク・ライフ・バランスを推進し、働きやすい職場環境づくりを推進します。	人事課	・年次休暇の平均取得日数 令和7年度 16.5日 (令和6年度 15.9日)	・全職員向けにワーク・ライフ・バランスの推進とともに、年次休暇の取得を呼びかける通知を発出し、取得促進に寄与した。
	②不要な業務の廃止など効率的な働き方を推進することで、長時間労働を是正します。	人事課	・設定した時間外勤務の上限を超えない所属数の割合 令和7年度 80.2% (令和6年度 84.9%)	・各部署において特定の係や職員に負荷が集中しないよう業務分担を分散するなど、時間外勤務の平準化及び縮減を図り、長時間労働の是正に努めた。

生活安全部 令和7年度組織重点目標（成果・実績）

(1)市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
防災体制の構築を進めます。	① 自主防災会や消防団など地域の防災活動を支援し、地域防災体制の充実強化を図ります。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区自主防災訓練 23地区 67回 参加人数：延べ12,189人 ・ 自主防災会の防災活動への補助 22地区 計16,990,000円 ・ 自主防災推進会議の開催 2回 ・ 消防団ポンプ自動車及び資器材等の適正な維持管理 ・ 消防団活動の広報による団員の確保 消防団員数：331人 (11人増) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災会の防災訓練等の支援を行うことで、自主防災会の育成を図ることができた。 ・ 自主防災会へ補助金を交付し、資器材の配備等を支援することで防災力の強化を図ることができた。 ・ 自主防災推進会議の開催により、自主防災会同士の連携が深まり、市全体として地域防災力の強化を図ることができた。 ・ 消防団ポンプ自動車の更新に向けた検討を開始した。また、資器材等についても適正な維持管理ができ、消防力の強化を図ることができた。 ・ 愛知教育大学の学生向けに消防団への勧誘チラシを配布するなど、消防団活動の啓発を図ることができた。
	② 市民の防災意識の高揚を図るとともに、避難者の環境の充実を図ります。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災講演会の開催 1回 ・ 避難所へのマンホールトイレの整備 愛知教育大学 9基 刈谷北高等学校 5基 刈谷工科高等学校 6基 刈谷東高等学校 5基 富士松南小学校 4基 富士松北小学校 4基 亀城小学校 4基 双葉小学校 4基 ・ 自動ラップ式トイレの配備 11避難所（22基） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 能登半島地震の課題として取り上げられた「温かい食事、栄養バランスの確保」を題材とした防災講演会の開催により、市民の防災意識の高揚を図ることができた。 ・ マンホールトイレの整備や自動ラップ式トイレの配備により、災害時のトイレ不足解消及び衛生的なトイレ環境を確保することができた。
安心安全に暮らせるまちづくりを進めます。	① 防犯・交通安全意識の高揚に努めます。	くらし安心課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察と連携し、商業施設などで防犯及び交通安全に関する啓発活動を実施 ・ 交通安全教室の開催 149回 ・ 防犯用具購入費等補助 473件 ・ 家庭用防犯カメラ購入費等補助 193件 ・ LINE等による情報発信 31回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LINEやあいかりを用いて情報発信を積極的に行い交通安全、防犯意識を醸成することができた。 ・ 防犯用具購入費等補助制度や新たに実施した家庭用防犯カメラ購入費等補助により防犯意識の醸成を図ることができた。 ・ 交通安全教室をはじめ、刈谷警察署と連携し、刈谷市出身のサッカー日本女子代表選手による一日警察署長等の啓発活動により、交通安全意識の醸成を図ることができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
安心安全に暮らせるまちづくりを進めます。	②市民相談体制の充実	くらし安心課	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市犯罪被害者等支援条例の制定 ・刈谷市犯罪被害者等支援金支給要綱及び刈谷市犯罪被害者等日常生活支援事業実施要綱の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害者等支援の基本理念、責務、施策の基本となる事項を条例において明確化したことにより、犯罪被害者等支援を推進することができた。 ・支援金の支給制度及び日常生活支援制度の創設により、実効性のある犯罪被害者等支援体制を整えた。

(4)市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民と行政が連携協働した災害への備えを推進します。	①地域の自主防災組織等で活躍できる人材育成を進めます。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダー養成講座 修了者 44人 ・災害ボランティアコーディネーター養成講座 修了者 25人 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の実施により、地域で防災活動を行う人材の育成を図るとともに、新たな知識を習得する機会を創出することができた。

市民活動部 令和7年度組織重点目標（成果・実績）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
マイナンバーカードの取得を促進します。	①申請しやすい環境を創出します。	市民課	<ul style="list-style-type: none"> 出張申請受付の実施 企業 2回 (92人) 個人宅 2回 (2人) 行政書士による申請支援 高齢者施設 3回 (9人) 	<ul style="list-style-type: none"> 施設等の外出困難者や就業時間等で制約を受ける企業寮生に対して、取得を促進できた。
	②交付体制を充実します。	市民課	<ul style="list-style-type: none"> 外出困難者等への出張交付の実施 3回 (3人) 行政書士による交付支援 高齢者施設 3回 (9人) 土曜日等閉庁時における交付窓口の開設 土曜日等 17回 時間外 50回 本庁の窓口増設 増設数 2窓口 富士松支所での交付窓口開設 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者等の自宅や施設を訪問し、外出困難者の取得を促進した。 閉庁時におけるカードの受取り需要に応じて、交付窓口を開設し、カード取得を促進した。 交付窓口の拡充により、待ち時間の短縮や市民の利便性の向上に貢献できた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
マイナンバーカードを活用して行政手続の利便性を向上を図ります。	①企業への働きかけ、広報範囲の拡大等によりコンビニ交付サービスの利用を促進します。	市民課	<ul style="list-style-type: none"> コンビニ交付サービスの利用割合 35.0% 	<ul style="list-style-type: none"> コンビニ交付率の増加により、市民の利便性が向上し、窓口の混雑が緩和された。
市民が安心してイベントに参加する環境づくりを推進します。	①刈谷市観光協会等と連携し、安全に配慮したイベントの開催を推進します。 ②歴史文化、芸術等に関する施策を推進します。	文化観光課 文化観光課	<ul style="list-style-type: none"> 主要観光拠点の利用者数 9,696千人 水野家及び天誅組ゆかりの市町村との交流関係事業の実施 企画展の開催 歴史博物館 3回 美術館 3回 	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策を施し、桜まつり、わんさか祭り、刈谷アニメコレクション等を開催することができた。 水野家ゆかりの市町村との交流事業を実施し、刈谷市の魅力を市内外にPRすることができた。 企画展始め各事業を実施した。 ※年間入館者数（企画展含） 歴史博物館 35,231人 郷土資料館 10,286人 美術館 110,878人

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
性別にかかわらず誰もが支えあえる社会づくりを推進します。	①男女共同参画社会を実現するためミライク刈谷を開催し、市民の男女共同参画に対する意識啓発を図ります。	市民協働課	<ul style="list-style-type: none"> ミライク刈谷2025の実施 参加者数 1,256人 (内訳) トークショー 206人 映画祭 933人 各種講座 117人 	<ul style="list-style-type: none"> ミライク刈谷2025を実施し、参加者及び関係者の男女共同参画意識啓発を図ることができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民活動の活性化を支援します。	<p>①業務の効率化及びデジタル化を行う自治会を支援することで、自治会の運営に係る負担軽減を図ります。</p> <p>②顔の見える関係づくり及び活力ある地域づくりに取り組む自治会等を支援することで、市民活動の活性化を図ります。</p>	<p>市民協働課</p> <p>市民協働課</p>	<p>・自治会業務効率化支援事業補助金の交付 交付団体 10自治会(12件)</p> <p>・笑顔あふれる地域づくり補助金の交付 交付団体 23自治会(32件)</p>	<p>・LINE公式アカウント作成・運用、事務員雇用、会計事務委託等により事務の効率化を図った自治会に対して、補助金交付による支援を行うことで、自治会役員の負担軽減につなげることができた。</p> <p>・既存事業の拡充（夏祭りにおける自治会加入の促進活動等）又は新規事業（住民同士の交流が図れるもの）を実施した自治会に対し、補助金交付による支援を行うことで、市民活動の活性化や地域の顔の見える関係づくりにつなげることができた。</p>
市民や関係団体と連携して、地方創生を推進します。	①文化財保護団体や文化芸術団体、教育機関等と連携しながら、各種施策を推進します。	文化観光課	・協働事業数 8事業	・各団体と連携を図り、市民が文化芸術に触れる機会を提供することができた。

福祉健康部 令和7年度組織重点目標（成果・実績）

(1)市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
<p>障害者が安心して暮らすための取り組みを推進し、高齢者が安心して暮らすための取り組みを推進し、地域生活支援拠点等の安定運営及び機能充実に向けた協議を行います。</p> <p>②住民主体の介護予防活動を支援します。</p> <p>③認知症の人やその家族を支える環境づくりを推進します。</p>	福祉総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・検討部会の開催 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし体験利用制度の整備について検討を行い、令和7年7月から当該制度を開始した。 	
	長寿課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリ活動支援事業利用団体 10団体 ・地域サロン活動等補助事業登録団体 153団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの専門職を地域の集まりの場へ派遣し、継続的に運動ができる方法の指導を行った。 ・住民主体の介護予防活動を行うサロン活動の育成や支援をし、登録団体を増やすことができた。 	
	長寿課	<ul style="list-style-type: none"> ・行方不明高齢者等SOSネットワーク登録者数 186人 ・認知症介護家族交流会参加者数 147人 ・認知症サポーター養成講座参加者数 1,568人 ・延べ参加者数 14,913人 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前登録により、警察や民生委員、関係機関と認知症高齢者の情報を共有することで、行方不明となった際の早期発見につながる体制を構築した。 ・認知症の人とその家族が早期から安定した生活ができるよう介護者を対象に講座を開催した。 ・認知症サポーター養成講座において、認知症に関する正しい知識を学ぶ機会を提供し、認知症の方が安心して暮らし続けることができる地域づくりにつながることができた。 	
<p>生活困窮者の自立の支援を行います。</p>	生活福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者数 58人 ・就労者数 41人 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給者に対し就労支援を行い、自立の促進を図ることができた。 	
	生活福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援による就職率 72% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者自立支援制度の就労支援等により、自立の促進を図ることができた。 	
<p>市民が健康で元気に生活できると健康づくりを推進します。</p>	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署との推進部会の開催 1回 ・健康日本21かりや計画推進委員会の開催 1回 ・健康経営事業所への支援に向けた企業等との連携件数 1件 ・かりや健康づくりチャレンジ宣言事業所数 195事業所 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会及び部会を開催することにより、有意義な意見交換や課題共有等を行うことができた。 ・連携した企業の持つ資源やノウハウ等を活用し、11事業所の従業員の睡眠習慣の改善を図ることができた。 ・かりや健康づくりチャレンジ宣言事業所認定制度により、従業員の健康づくりに取り組む事業所を支援することができた。 	

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民が健康で元気に生活できるように心づくりを推進します。	②第2次自殺対策計画に基づき、総合的かつ効果的な自殺対策の取組を推進します。	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> 関係部署との推進部会の開催 1回 自殺対策計画推進委員会の開催 1回 子ども・若者向け講座の開催 7回 こころの健康講演会の開催 2回 事業所向け出張型こころの健康講座の開催 16団体 	<ul style="list-style-type: none"> 委員会及び部会を開催することにより、有意義な意見交換や課題共有などを図ることができた。 教諭や高校生に加え、新たに中学生を対象とした講座を開催し、重点対象である、子ども・若者への取組を強化することができた。 事業所を対象とした出張型講座を開催し、重点対象である働く世代への自殺対策を推進することができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
保険制度の適正な運営に努めます。	①介護人材の確保及び専門性の高い人材の育成を推進します。	長寿課	<ul style="list-style-type: none"> 介護に関する入門的研修の受講人数 29人 介護職員初任者研修の資格取得制度利用者数 13人 主任介護支援専門員研修の資格取得制度利用者数 8人 	<ul style="list-style-type: none"> これから介護職を目指す人や現在介護現場で働いている介護従事者に対して、研修費用を補助することで、介護人材の確保や育成につなげることができた。
	②ジェネリック医薬品の利用を推進します。	国保年金課	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品利用率 86.4% 	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品に切り替えることで一定の自己負担額軽減が見込まれる国民健康保険被保険者に対し、ジェネリック医薬品利用差額通知書を送付し啓発することにより、医療費の増加抑制につなげることができた。
	③民間活力を導入し、レセプト等の点検を強化します。	国保年金課	<ul style="list-style-type: none"> 診療報酬明細書及び柔道整復等療養費支給申請書の点検を実施 	<ul style="list-style-type: none"> レセプト等の点検を民間委託することで、コストの低減と業務の効率化を図ることができた。また、過誤請求を減らし、医療費の適正化を行うことができた。
	④後期高齢者医療保険料の収納率向上を図るため、高齢者に合わせたきめ細やかな対応をします。	国保年金課	<ul style="list-style-type: none"> 普通徴収の収納率 99% 	<ul style="list-style-type: none"> 電話催告及び臨場訪問を実施し、高い収納率を維持することができた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
地域の課題の解決に、市民や企業、団体などの連携を推進します。	①刈谷市障害者自立支援協議会の開催により、障害者を支援するための施策を協議します。	福祉総務課	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の開催 3回 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会を開催することにより、支援機関の連携向上など障害者施策の連携を図ることができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
地域の課題の解決に、市民、企業、団体の連携を進めます。	② 民生委員の任期満了に伴う一斉改選を円滑に実施し、委員活動の継続的推進を図ります。	福祉総務課	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員の選任 162人 新任者研修会や事務引継会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 新任者研修 1回 事務引継会 6回 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年12月の一斉改選に伴い、162人の委員を選任（定数1人増、欠員ゼロ）。 市主催の新任者研修を実施し、基本的職務について学び、また、関係各課からの事業の説明を受ける機会とした。 各地区民児協（6地区）において、新任委員が円滑に活動ができるよう、退任委員及び新任委員の事務引継会を行った。
	③ 高齢者の見守り及び安否確認体制の充実を図ります。	長寿課	<ul style="list-style-type: none"> 協定締結事業者数 60事業者 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い業態の事業者に協定締結を呼びかけ、高齢者見守り体制の拡充につなげることができた。
	④ ICTを利用した、在宅医療・介護連携を推進します。	長寿課	<ul style="list-style-type: none"> 「えんjoyネット刈谷」患者登録者数 527人 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した情報共有システム「えんjoyネット刈谷」の利用促進を図ったことで、地域の医療・介護関係者間の情報共有を支援した。
	⑤ 高齢者のちょっとした困りごとを地域で解決する仕組みを整備します。	長寿課	<ul style="list-style-type: none"> ちょこっとささえあい事業利用登録者数 219人 ちょこっとささえあい事業サポーター数 350人 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のちょっとした困りごとを地域のサポーターが解決する仕組みであるちょこっとささえあい事業を市内全地区へ展開した。

次世代育成部 令和7年度組織重点目標（成果・実績）

(1)市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
関係機関と連携し子育て支援の充実を図ります。	①こども家庭センターを設置し、出産前から子育て期まで切れ目なく支援します。	子育て推進課 子育て支援課	・サポートプラン作成件数（手交件数） 子育て推進課 15件 子育て支援課 26件 合計 41件	・出産から子育て期における相談支援機関として、こども家庭センターを設置した。 ・子育て推進課と子育て支援課の連携が強化されたことで、一体的な相談支援体制が整った。 ・合同ケース会議を月1回開催し、要支援者への対応を検討するとともに、サポートプランの手交により必要なサービスにつなぐことができた。
	②ヤングケアラーの実態を把握し、関係部署・団体との連携した支援を推進します。	子育て推進課	・試験的に市内の小中学校各3校で実態調査を実施 ・ヤングケアラー対策部会の設置	・ヤングケアラーの実態を把握し、学校と連携した支援を行うことができた。また、実態調査の対象となった児童・生徒のヤングケアラーへの理解度が高まった。
	③5歳児健康診査の実施に向けた体制整備を図ります。	子育て支援課	・5歳児健康診査検討委員会を開催し、実施方式を決定 委員会 3回 先進市視察 2回	・5歳児健康診査検討委員会で協議を重ねた結果、集団健診のひとつである二段階方式で、令和9年度から健診を実施することに決定した。
子どもを安心して育てることができるよう、きめやかなサービスの提供に努めます。	①夢と学びの科学体験館において、子どもや子育て世代を対象にしたイベント内容の充実を図ります。	子育て推進課	・満足度（「とてもよかった」「よかった」と回答）平均93% ・イベントアンケート回答人数 袈裟丸祐介コンサート 249人 ハナビリウムイベント 98人 浅田先生講演会 163人 ブラック星博士 147人 マタニティプラネタリウム 31人 10周年記念イベント 965人	・SNSやHPなど、広報を積極的に行い、プラネタリウムイベントの観覧者数を増やすことが出来た。 ・コンサートのアンケート結果、「また是非やってほしい」という声が多数あるのと同時に、プラネタリウムでクラシックを聞きたい人や癒しを求めている人が多数いることがわかった。
	②待機児童の解消に努めます。	子ども課	・新規園誘致のための公募実施 乳児園 1園 （令和8年度開設） 保育園 1園 （令和10年度開設） ・既存公立保育園の乳児園化	・公募による新規園2園の運営事業者の選定及び既存公立保育園2園の乳児園化により、計画的な受入枠の拡充を図ることができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
<p>子どもを安心して育て、子育てがしやすいように努めます。</p>	③ 保育園等に通う発達に心配のある園児の自立に向けて、一人ひとりに適した支援を行います。	子ども課	・ 個別の支援が必要な園児への支援体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育カウンセラー（臨床心理士等）、保育相談支援員（園長経験者2人）による巡回支援によって、必要に応じて関係機関との連携をとり、園児一人ひとりの特性に適した療育施設や病院等につなげ、支援体制を強化した。 ・ 特性に応じた支援が必要な園児に対して、必要に応じて年度の途中で加配保育者の配置換えをし、支援体制を強化した。
	④ ICTの活用により利用者の利便性向上や職員の事務負担軽減を図ります。	子育て推進課 子ども課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童クラブへの出席等管理システムの導入 ・ 子どもの見守りサポートや保育教諭の負担軽減に係るICT活用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全15クラブに出席等管理システムを導入することで、市民の利便性向上及び職員の事務負担軽減を図ることができた。 ・ 子どもの見守りサポートに係るICT活用の課題について検討した。 ・ 保護者連絡や懇談会予約などICTを活用することで、保育教諭の負担の軽減につながった。
	⑤ 保護者の育児負担の軽減等を図るため、産後ケア事業を推進します。	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産後ケアの総利用日数(実利用者数) 宿泊型 278日(72人) 日帰り型 97日(57人) 訪問型 891日(341人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の身体的回復や心理的な安定及び適切な育児技術の習得のための支援を行うことにより、保護者の育児負担の軽減につながった。
	⑥ 児童発達支援センター（現しげはら園）の機能を拡充するため、移転・整備を行います。	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設工事の着手 ・ 支援体制の拡充に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札により業者を決定し、契約締結の後、工事に着手した。また、新施設完成後のサービス提供時間の延長に向けた人員体制等の検討を行った。
	⑦ 子育て支援サービスの利用促進に向けて取り組みます。	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産後ヘルパー派遣事業及び病児・病後児保育の利用料について、キャッシュレス決済を導入した。 ・ 子育てサービス無料体験の実施 産後ケア 288件 産後ヘルパー 33件 ファミリーサポート 64件 病児・病後児 36件 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の利便性の向上を図ることが出来た。 ・ 母子健康手帳交付時やはぴかりなどによるプッシュ通知などを通じて、子育てサービス無料体験の利用促進に取り組んだ。
<p>子どもの権利を推進し、最も善い策を推します。</p>	① こども計画に基づき、こどもの意見を聴取し、市の施策に反映する機会を創出します。	子育て推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全市立中学校で意見聴取を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6中学校の中学2年生に対し、職員が対面での授業を行い、グループワークを通じた双方向型の意見聴取を行うことができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
こども・若者の利益を重視した進めます。	②こども計画に基づき、貧困にある家庭にも・若者が、経済的な理由から人生の選択を制約されないよう支援します。	子育て推進課	・こどもの進路チャレンジ応援補助金の交付件数 大学等入学試験 48件 大学等入試模擬試験 10件 高校等入試模擬試験 9件	・こどもの進路チャレンジ応援補助金を交付し、こどもの進路選択におけるチャレンジを後押しすることができた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
子育て家庭が安心して生活できるように支援します。	①子育て支援センターを始め、子育て世帯の身近な施設に子育てコンシェルジュを配置し、子育て世帯が多様な子育て支援事業の中から適切な事業を選択できるよう支援します。 ②行政手続のDX化を推進することで、登録者の拡大を図り、子育て世帯に向けた情報提供を充実させます。	子育て支援課	・子育てコンシェルジュの相談等対応件数 2,976件 ・母子手帳アプリ「はぴかり」登録者数 4,866人	・子育てコンシェルジュを身近な施設に配置し、気軽に相談できる体制を整えることで、最適な子育て支援サービスの提供につながった。 ・登録者に対し、妊娠期・産後の必要な時期にパパママクラスの勸奨、予防接種、産後ケア、支援センターの事業など必要な情報を提供することができた。

(6) 創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
職員の確保・資質の向上を目指します。	①安全で快適な保育体制を維持するため、保育教諭等の人材確保に努めます。	子ども課	・就職セミナーへの参加1校、養成校である大学への訪問2校実施 ・保育の仕事の魅力を伝えるための関係機関との連携体制構築 ・かりや保育人材バンクの新規登録者数 28人	・就職セミナー参加者及び訪問大学の学生から10人を採用することができた。 ・関係機関と連携し、年2回の各中学校家庭科授業の保育体験の中で、園児と遊ぶ以外に、絵本の読み聞かせ等の保育者体験が実施できた。また、自分たちで実習内容を考え実施することで、保育の魅力を感じてもらった。 ・かりや保育人材バンクの登録者から5人を採用することができた。

産業環境部 令和7年度組織重点目標（成果・実績）

(1)市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
事業者ニーズや社会的課題を把握し、中小企業を支援を図ります。	①中小企業が持続的に成長するため、産業イノベーションを推進します。	商工業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成、次世代育成プロジェクトの実施 NOWかりや 9人 CoDoものTech 14人 未来創造たまご塾 70人 アウトオブキッズニア 640人 ・スタートアップ企業との連携促進 マッチング件数 99件 ・交流機会の創出 イノベーションBAR参加者 218人（延べ） KIP MEET 2026 参加者 96人 	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷産業イノベーション構想に基づく各種プログラムを展開し、市内中小企業が関わることで、協業や共創によるイノベーション創出の推進に向けた機運を醸成することができた。 ・STATION Aiに入居するスタートアップ企業と市内中小企業とのマッチングを図る中で、現状把握や課題解決に向けた手段の模索を伴走しながら行うなど、持続的な関係性構築につなげることができた。

(2)次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政を維持するため、財源の確保に努めます。	①産業の高度化、高付加価値化に向け、企業集積を高め、拠点性がある工業団地の早期整備に努めます。	企業立地推進室	<ul style="list-style-type: none"> ・依佐美2期開発における企業庁との連携推進 ・土地・物件売買契約書のとりまとめ完了 ・都市計画法第32条に基づく事前協議 ・企業用地需要の把握 104.9ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期開発決定区域における地権者との土地売買契約書のとりまとめを完了した。 ・企業誘致活動により、分譲予定面積の19haを大きく超える用地需要を確認した。

(3)市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
将来の市民ニーズや社会的課題を積極的に対応します。	<p>①スマート農業機器の導入に対して補助を行い、農作業の自動化や省力化を図ります。</p> <p>②有機質肥料等を使用した水稻の栽培実証実験を行い、有機農業への関心を高めます。</p>	農政課	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業機器補助件数 2件 ・実証実験で収穫した米を活用し有機農業をPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬散布用ドローンや自動運転機能搭載のトラクターを導入した者に導入費用の一部を補助し、農作業の省力化が図られた。 ・農業まつりでアンケート協力者に実証実験で収穫した米を配布し、有機農業への関心を高めた。 ・農業委員会や農事連絡員会議で実証実験の結果を情報提供し、有機農業への気運を高めた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
生活環境が良好に保たれ、環境負荷の少ない持続可能なまちづくりを推進します。	①第3次環境基本計画に基づき、世界的環境課題への対応に向け、脱炭素化や環境保全等の取組を推進します。	環境推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用脱炭素促進設備導入費補助制度の交付件数 12件 ・「かりやカーボンニュートラルバンク」及び「くらしカーボンニュートラルクラブ」への新規登録者 232人 ・啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 事業者向けセミナー 1回 イベントへの新規出展 3回 生物多様性講座 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の脱炭素の取組を支援することで、本市のCO₂排出量の低減につなげることができた。 ・各制度への登録を促進し、家庭のCO₂削減量を環境価値化することで、ゼロカーボンシティ達成への取組を図った。 ・事業者向けの脱炭素経営セミナーの開催や新たに3つのイベントに参加したほか、生物多様性に関する講座の新規開催など環境問題への関心を高めるための情報発信に取り組んだ。
3Rを推進します。	①プラスチックごみの再商品化を推進します。	ごみ減量推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・再商品化業務委託に向け、業者選定方法の検討及び仕様の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・再商品化業務委託に向け、業務仕様書案を作成し、適切な減容作業が可能な業者を選定できるよう契約方法について検討した。

建設部 令和7年度組織重点目標（成果・実績）

(1)市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
安心・安全で快適な生活空間づくりを推進します。	<p>①歩行者が安心して通行できる歩行空間を整備します。</p> <p>②渋滞解消のための道路を整備します。</p> <p>③健全な道路の維持・保全に努めます。</p> <p>④事業推進に向け、不動産の取得、処分、貸借及び交換に努めます。</p>	<p>土木管理課 道路建設課</p> <p>道路建設課</p> <p>土木管理課</p> <p>用地対策課</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市道の歩道設置、改良 6路線 市道の新設改良 2路線 要望会の実施 6回 名古屋三河道路推進協議会の体制強化 あいかりや道路維持管理支援システムなどを活用した、効率的な道路点検の実施 道路維持管理支援システムを設置した車両の走行距離 6,047.3km 予定事業用地の取得率 88.2% 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者が安心して通行できる歩行空間の整備を推進することができた。 渋滞解消するための道路整備を推進することができた。 国及び県に対する要望活動を行うことで幹線道路の整備促進及び実現に向けた取組を推進することができた。 道路維持管理支援システムにより効率的に道路陥没等を発見し、現場対応をすることができた。 交渉により、事業用地の取得等、事業の推進につなげることができた。
災害に強いまちを推進します。	<p>①大規模地震が発生した時に、避難路及び物資の輸送ルートを確認します。</p> <p>②住宅等の地震対策の啓発を行い、耐震改修を促進します。</p>	<p>道路建設課</p> <p>建築課</p>	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょうの耐震補強対策 5橋 電線類の地中化 2路線 木造住宅等耐震改修等補助件数 39件 ブロック塀撤去補助件数 17件 耐震啓発ローラー作戦等の実施 1回 総合防災訓練などでの耐震改修工法の紹介 4回 	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょうの耐震化及び電線類の地中化を行い、避難路等の安全性を高めることができた。 自治会と連携した講座や戸別訪問、各種イベントのブース出展など住宅の耐震対策の必要性や各種補助制度について啓発活動を実施し、戸別訪問では対象住宅のうち3割以上から無料耐震診断の申し込みを受け付けることができた。

(2)次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政を維持するための多角的な財源確保に努め、事業を推進します。	<p>①国庫補助・県費補助を積極的に活用します。</p>	<p>土木管理課 道路建設課 建築課</p>	<ul style="list-style-type: none"> 補助事業活用件数 16件 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と協議した結果、国庫補助として採択された。 国庫補助・県費補助を活用し、財源負担の軽減を図りつつ各種事業を実施することができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政を維持するた め、多角的な財源確保に努め、画的に事業を推進します。	② 橋りょう長寿命化計画に基づいた維持保全を図ります。	土木管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画の見直しの実施 ・橋梁長寿命化修繕計画の改定 ・橋りょう点検業務の実施 80橋 ・橋りょう補修工事の実施 3橋 	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画に基づき、平準化を図りながら必要となる橋りょうの点検と補修を実施することができた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
ボランティア制度の確立を図ります。	<p>① 各自治会と連携し、地区清掃を実施します。</p> <p>② 市内の道路・河川・大型公園等の美化及び清掃活動を行う市民のボランティア団体への支援をします。</p> <p>③ 地区防災会等と連携し、住宅の耐震化を啓発する防災講習会等に参加します。</p>	<p>土木管理課</p> <p>土木管理課</p> <p>建築課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・側溝清掃の実施地区 22地区 ・クリーンサポート刈谷登録団体数 68団体 ・防災講習会等への参加 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会と連携し、22地区で地区清掃を実施することができた。 ・登録団体への支援により、道水路等を良好な状態に保つことができた。 ・自治会と連携した講座や戸別訪問で住宅の耐震対策の必要性や各種補助制度について啓発活動を実施し、戸別訪問では対象住宅のうち3割以上から無料耐震診断の申し込みを受け付けることができた。

都市政策部 令和7年度組織重点目標（成果・実績）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
民間活力の導入により、市民サービスの向上に努めます。	① 刈谷駅北地区地域交流施設において指定管理者による自主イベント等を開催します。	まちづくり推進課	・ イベントの実施回数 38回	・ 自主事業等のイベントを定期的に開催することで、刈谷駅周辺のまちのにぎわい創出と地域の連携及び交流の促進に寄与することができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
多角的な財源確保に努め、計画的に事業を推進します。	① 「かりまる」への広告の掲載や、バス車内のサイン等による広告収入を確保します。	都市交通課	・ 広告掲載件数 97件	・ 「かりまる」のラッピング、車内モニター、バスロケシステムに多数の広告が掲載され、効果的な広告提供とともに広告収入が確保できた。
	② 社会資本整備総合交付金等の活用に努めます。	まちづくり推進課 都市交通課 市街地整備課	・ 交付金等活用件数 9件	・ 交付金を活用し、財源負担の軽減を図りつつ各種事業を実施することができた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
やすらぎと潤いのある良好な住環境を整備し、持続可能なまちづくりを推進します。	① 市内への定住の促進と活発な産業活動を支えるため、新市街地の創出に取り組みます。	まちづくり推進課	・ 依佐美地区（産業系）地区計画の策定、県との事前協議、法第17条縦覧、都市計画審議会への付議	・ 計画通り都市計画を決定し、事業進捗を図ることができた。
	② 刈谷駅・刈谷駅周辺において、民間活力を活用した計画的な市街地整備の推進を図ります。	市街地整備課	・ 民間活力の活用地区数 2地区 ・ 民間活力の活用検討地区数 3地区	・ 優良建築物等整備事業により、基盤整備と一体的な民間再開発を支援し、良好な住環境の整備を推進した。 ・ 事業者や地元まちづくり組織などと各種調整を図り、民間再開発の事業化を促進した。
	③ 土地区画整理事業を推進し、良好な住環境を整備します。	市街地整備課	・ 小垣江駅東部 物件移転交渉 2件 ・ 野田北部 換地計画の認可	・ 合意形成に向けて交渉を重ねた。 ・ 野田北部の換地計画について、県の認可を得た。
	④ 社会情勢等を踏まえ、今後の中心市街地におけるまちづくりの新たな方針を示すため、まちづくり基本計画の見直しを行います。	まちづくり推進課	・ まちづくり基本計画の改定アンケート調査、現計画の評価及び課題整理	・ 市民や駅利用者を対象にアンケート調査を実施することで中心市街地に対する市民意識を把握するとともに、現計画の評価及び課題整理を行うことができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
やすらぎある 潤いのある 良好な住環境 を整備し、 持続可能な まちづくりを 推進します。	⑤大規模災害に備え、事前復興計画の策定に向けた各地区の災害リスクや課題等の整理を行います。	まちづくり推進課	・震災復興検討地区の分析 震災復興検討地区カルテの更新 7地区	・被災後の市街地の円滑な復興に向けて各地区の必要な情報等を整理することができた。
	⑥刈谷駅周辺における公共空間の活用に取り組みます。	まちづくり推進課	・公共空間を活用したイベントの実施 29回	・まちづくり団体と連携しながら公共空間を積極的に活用することで、刈谷駅周辺のにぎわいを創出することができた。
市民の暮らしを 支え、暮らし の環境を整備 し、暮らしを 高めます。	①本市が目指す将来都市像の実現に向けた総合交通体系の展開を図ります。	都市交通課	・総合交通体系に関する協議 都市交通協議会の開催 4回	・都市交通戦略の進捗や「かりまる」再編の報告した際、専門家や事業者の視点から幅広い意見をいただき、戦略改定の検討や「かりまる」再編を行うことができた。
	②JR刈谷駅の安全性確保、利便性の向上を図ります。	都市交通課	・JR刈谷駅改良に対するJR東海への補助	・拡張した下りホームや下り側コンコース、エスカレーター、トイレなどを5月に、ウォークイン改札を備えた新しい改札を9月に供用開始した。
	③市民の移動の利便性向上のため、「かりまる」を含めた公共交通体系を再構築します。	都市交通課	・「かりまる」の再編（増便などの利便性向上と有料化） 令和8年2月運行開始 ・公共交通に関する意見交換会 6回 ・デマンド交通実証実験の区域 拡張及び車両の増便	・「かりまる」の路線再編、増便、乗継拠点整備、有料化を実施し、運行を開始した。 ・これまでに把握できた各中学校区の意見により、市民ニーズに合わせた再編を行った。 ・デマンド交通の実証実験を拡大継続することで認知度が上がり、地域の交通として利用を促進することができた。
	④「かりまる」の乗継拠点を整備します。	都市交通課	・乗継拠点整備 2か所	・乗継拠点として総合運動公園、一ツ木町一本木のバス停を整備し、乗継拠点の待合環境を充実させることができた。
	⑤市民の外出機会の創出及び「かりまる」の利用促進を図るため、イベントや啓発を実施します。	都市交通課	・アプリを活用した利用促進イベントの実施 2回 ・イベントにおける啓発ブースの出展 2回	・民間事業者と連携したイベントを開催することで、市民の公共交通へ触れる機会を創出し、利用促進を図ることができた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
<p>住民意思を反映したりまちづくり策を推進します。</p>	<p>① 刈谷駅周辺の地域課題の解決に取り組むエリアプラットフォームを構築します。</p>	<p>まちづくり推進課</p>	<p>・官民連携によるまちなか再生に向けた関係団体等との協議 12回</p>	<p>・行政、企業、住民等による刈谷駅周辺エリアプラットフォームを構築するとともに、令和8年度の未来ビジョン策定に向けた原案を作成し、事業の進捗を図った。</p>
	<p>② 地域住民や事業者等が参加できるワークショップ等を開催します。</p>	<p>まちづくり推進課</p>	<p>・ワークショップ等の活動回数 22回</p>	<p>・まちづくりの担い手の発掘や育成、地域主体のまちづくり活動を促進することができた。</p>
	<p>③ 「かりまる」「チョイソコかりや」などの公共交通の利便性向上のため、市民参加による路線の見直しの検討などを行います。</p>	<p>都市交通課</p>	<p>・公共交通に関する意見交換会の実施 6回 ・デマンド交通実証実験に係る地区との意見交換 6回</p>	<p>・これまでに把握できた各中学校区の意見により、市民ニーズに合わせた「かりまる」の再編を行った。 ・デマンド交通の停留所設置や利用促進について、地域と意見交換を重ね、運行に反映した。</p>

都市公園部 令和7年度組織重点目標（成果・実績）

(1)市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
民間活力の導入により、市民サービスの向上に努めます。	① 指定管理者制度の活用に加え、公園使用に関する規制を緩和し、民間事業者によるイベント開催等を促進します。	公園緑地課	・ 指定管理者主催のイベント開催回数 46回 ・ 民間事業者主催のイベント開催回数 11回	・ 公園施設における民間のアイデアをいかしたイベントや教室を開催することで、市民の満足度を高めるサービスの提供を行った。
	② Park-PFI制度を活用した、公園の施設整備を推進します。	公園整備課	・ 総合運動公園の事業者選定及び整備工事に着手	・ 民間の資金と創意工夫により、公園施設の整備を進めることができた。

(2)次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
多角的な財源確保に努め、計画に事業を進めます。	① 社会資本整備総合交付金等の活用に努めます。	公園緑地課 公園整備課	・ 交付金等活用件数 5件	・ 交付金等を活用し、計画的に都市公園施設の整備、更新を実施できた。
	② 公園施設長寿命化計画に基づき、施設の更新・修繕を計画的に行います。	公園緑地課	・ 施設更新をした公園数 8公園 ・ 施設修繕をした公園数 23公園	・ 公園の安全性、美観性が向上し、市民の憩いの場として、安心・安全で快適な都市公園を提供することができた。

(3)市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
やすらぎと潤いのある良好な住環境を整備し、持続可能なまちづくりを推進します。	① トイレの洋式化や老朽化したベンチの取換えを行い、安全快適な公園をつくります。	公園緑地課	・ トイレ改修箇所数 9か所 ・ ベンチ更新基数 73基	・ 公園の安全性、利便性が向上し、市民の憩いの場として、安心・安全で快適な都市公園を提供することができた。
	② 本市の魅力を発信する5つの公園を対象とした魅力あふれる公園づくり構想の実現を目指し、事業化に向けた取組を推進します。	公園整備課	・ 実施設計等を完了した公園数 4公園 ・ 構想関連イベント等の開催回数 12回	・ 構想の実現に向けた整備計画をまとめることができた。 ・ 構想関連イベント等を実施し、公園の利活用イメージを体験してもらい、利用者ニーズや運営上の課題等を把握することができた。
	③ 身近な公園の整備を推進します。	公園整備課	・ たまち公園整備工事に着手	・ 都市機能の集約・再編にあわせ、公園機能の増進を図ることができた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
<p>市民や地区と連携し、市内の緑化を推進する。</p>	<p>①緑の募金を活用し、地区が自主的に行う地域の緑化活動を支援します。</p> <p>②緑化意識の醸成を図るため、庭づくり等緑化につながる教室を開催します。</p>	<p>公園緑地課</p> <p>公園緑地課</p>	<p>・実施地区数 22地区</p> <p>・教室の開催 4回</p>	<p>・集めた募金を地区が自ら緑化を希望する場所に活用することで、緑化意識の醸成とともに市内全体の緑化につながった。</p> <p>・教室を開催することで、自然や緑を愛する住民を増やし、緑化に対して興味関心を高めることができた。</p>

水資源部 令和7年度組織重点目標（成果・実績）

(1)市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
災害への備え及び発生時の対応を図ります。	①水道施設の耐震化を進めます。	水道課	<ul style="list-style-type: none"> 重要給水施設(52施設)への管路耐震化 1か所 配水池の耐震化 2か所 	<ul style="list-style-type: none"> 重要給水管路及び配水池の耐震化を促進し、災害時への備えを強化することができた。
	②災害発生時における飲料水供給に備えます。	水道課	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理委託業者との合同訓練 3回 緊急時に使用する資機材の操作訓練 3回 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理委託業者と機械や設備の操作訓練を合同で実施し、災害時における適切な対応を再確認することができた。 水道組合や関係機関と合同で資機材の操作訓練を実施し、手順を再確認することができた。
	③災害に備えて各施設の早期復旧への対応力向上を図ります。	下水道課 雨水対策課	<ul style="list-style-type: none"> 緊急調査訓練の実施 1回 緊急時に使用する資機材の操作訓練 8回 	<ul style="list-style-type: none"> 排水ポンプや水門の操作訓練を実施することで、災害時の対応能力を向上することができた。
	④浸水被害の軽減を図るため、草野川調整池及び雨水排水施設を整備・改修します。	雨水対策課	<ul style="list-style-type: none"> 調整池の護岸整備 155m 排水機場等の設備更新 5か所 	<ul style="list-style-type: none"> 調整池と草野池の仕切堤防の護岸工事を行うことで、治水安全度の向上を図ることができた。 雨水排水設備において計画的に更新等を行い、排水ポンプ等の適切な維持管理に努めた。
安心・安全で快適な生活空間を推進します。	①地域の実情に合わせて効率的に汚水管を整備し、公共用水域の水質改善や保全を図ります。	下水道課	<ul style="list-style-type: none"> 汚水管整備 1.8km 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道（污水）の整備により、下水道を使用できる区域が増加した。
	②小中学生を対象とした下水道ポスターの募集と入賞作品の展示を通じて普及啓発を行います。	下水道課	<ul style="list-style-type: none"> ポスターコンクール実施回数 1回 入賞作品の展示 6会場 	<ul style="list-style-type: none"> ポスターを描いたり見たりしてもらうことで、下水道の役割を考える機会を提供することができた。
	③市民の集まる機会をいかし、水道水の安全性や下水道の重要性、総合治水対策の啓発を行います。	水道課 下水道課 雨水対策課	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対する啓発活動 6回 	<ul style="list-style-type: none"> わんさか祭りや出前講座で多くの市民に対し、上下水道事業及び治水対策等について啓発を行うことで、市民意識を向上させることができた。
	④公共下水道事業への理解を深めるとともに接続を促すため、個別訪問などを実施します。	下水道課	<ul style="list-style-type: none"> 個別訪問などの実施 42件 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道の仕組みや役割について個々に説明をすることで、下水道接続の促進に寄与することができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
公共料金の向上を図り、国の補助金を積極的に活用する。補助金を財源とする。	<p>①民間事業者による業務運営により、滞納者に対する戸別訪問などを実施することで収納率の向上に努めます。</p> <p>②関連機関と協議し、補助制度を活用することにより安定的な事業運営を図ります。</p>	<p>水道課</p> <p>水道課 下水道課 雨水対策課</p>	<p>・滞納繰越分収納率 99.0%</p> <p>・補助活用件数 18件</p>	<p>・滞納者を早期に把握し、速やかに対応することで目標値を達成することができた。</p> <p>・補助制度を活用し、水道施設の耐震化や、河川施設及び下水道施設の長寿命化などの事業を推進できた。</p>
将来の水道事業の安定を図る。	<p>①ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した汚水管や雨水ポンプ場の改修を進め、下水道施設の延命化を図ります。</p> <p>②水道事業ビジョン及び経営戦略に基づき安定した水道水を供給するため、施設の老朽化対策を図ります。</p> <p>③上下水道事業のビジョン及び経営戦略に基づき、経営の健全化や効率的な事業運営に努めます。</p>	<p>下水道課 雨水対策課</p> <p>水道課</p> <p>水道課 下水道課</p>	<p>・管渠改修延長 1.2km</p> <p>・人孔蓋改修数 175か所</p> <p>・雨水ポンプ場の改築実施設計 1か所</p> <p>・老朽管対策延長 1.0km</p> <p>・刈谷市水道事業及び下水道事業審議会の開催 3回</p>	<p>・計画に基づき、実施設計及び工事発注を行い、長寿命化を進めることができた。</p> <p>・経年経過による劣化した管路の布設替えを行うことで、水道水の安定供給に寄与することができた。</p> <p>・事業経営の在り方について、審議会からいただいた答申を踏まえ検討を行い、水道料金及び下水道使用料を改定することで事業の継続に向けた経営の安定化を図ることができた。</p>

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民・企業との協働による水害対策を推進します。	<p>①災害に強いまちづくりを推進するため、市民・企業との協働による水害対策に取り組みます。</p>	雨水対策課	<p>・雨水貯留浸透施設設置補助件数 10件</p> <p>・水田貯留施設の設置 6か所</p>	<p>・市民や企業による雨水貯留浸透施設の設置や水田を活用した貯留施設を整備し、水害対策を推進することができた。</p>

教育部 令和7年度組織重点目標（成果・実績）

(1)市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
より安心して学校生活を送る児童生徒の教育環境の充実を図ります。	①学校施設や設備の整備、改修等を計画的に進めます。	教育総務課	・小中学校体育館トイレ改修工事の完了 ・雁が音中学校北舎大規模改造工事の実施 進捗率50%	・予定どおり工事を完了し、教育環境の向上及び避難所機能の強化を図ることができた。実施中の工事についても予定どおり計画的に進めることができた。
子どもや目の育む推進し	①児童生徒へ多様な体験機会を提供します。	学校教育課	・小学校における放課後子ども音楽教室の実施 7校	・学校や地域と連携し、楽器の演奏等、音楽文化に触れる機会を提供することで、子どもの居場所を創出することができた。
市民満足度の向上のため、スポーツ施設の充実を図ります。	①総合運動公園の施設の充実を図ります。	スポーツ課	・総合運動公園第5駐車場を整備	・246台の駐車場を整備し、利用者ニーズに対応した。

(3)市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民が交流でき、安心して過ごせる環境を整備します。	①城町図書館跡地に、様々な世代の市民が交流できる施設を整備します。	生涯学習課	・実施設計の完了	・導入設備の検討、建材の選定等を行い実施設計を完了した。

(4)市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
アジア・アジアパラ競技大会に向けた取組を推進します。	①アジア・アジアパラ競技大会の開催準備を計画的に進めます。	アジア・アジアパラ競技大会推進室	・アジア・アジアパラ競技大会に向けて大会実行委員会を組織 ・スポーツ、地域、観光商業、国際交流、教育、福祉など、各種団体と連携し、機運醸成策や市民参加イベント等を検討	・スポーツ、地域、観光商業、国際交流、教育、福祉などの団体の参画により大会実行委員会を組織した。 ・各種イベントへのPRブース出展をはじめ、団体と連携し、機運醸成に繋がる取組を実施することができた。